



夜空を焦がす華麗な技

小張と高岡で「綱火」奉納

本市が誇る伝統芸能で、国指定重要無形民俗文化財の「綱火」。今年も8月24日に小張松下流、8月26日には高



岡流が、それぞれの愛宕神社に火難除けや無病息災、五穀豊穰などを祈願し、綱火を奉納しました。夏の風物詩を楽しもうと集まった観客は、綱先で披露される人形芝居を楽しみました。仕掛けられた火薬に点火し、火花が噴き出すと客席から拍手と歓声が上がりました。



立浪部屋の皆さんが市長表敬

「ぜひ、朝稽古見に来て」と呼びかけ

陽光台に部屋を構える大相撲・立浪部屋の立浪親方と力士の皆さんが8月30日、小田川市長を表敬訪問しました。立浪部屋は本市に移転してから今年で12年目を迎え、地域に根差した相撲部屋として「どすこい! クッキング」はじめとした市の事業に多大なご協力をいただいています。明生関は「一生懸命やるだけ。幕内に必ず残る」との意気込みを語り、小田川市長は「一つでも上を目指して頑張ってください」と力士の皆さんを激励しました。



小田川市長Ⓜを表敬訪問した立浪部屋の皆さん(右から、宝鼻龍関、立浪親方、明生関、天空海関)と立浪部屋後援会の皆さん



優勝した豊ナインズの皆さん

豊ナインズ、県大会連覇達成!

小田川市長に優勝の喜びを報告

茨城県学童軟式野球大会「ノーブルホームカップ」の決勝トーナメントが8月4日・5日の両日、水戸市で行われました。この大会で、本市の豊ナインズが見事、去年に引き続き優勝し、大会連覇の快挙を成し遂げました。主将の近藤和真さん(富士見ヶ丘小6年)は「自分たちで勝ち取った優勝なのでうれしい。県大会があと2つ残っているので、優勝して全国大会に行きたい」と意気込みを語ってくれました。